横須賀市自殺対策シンポジウム

私から始める生きる支援

～私、「ゲートキーパー」始めました～

私たちの国では「もう生きられない」「生きていても仕方がない」と自ら命を絶ってしまう人が毎年3万人以上います。今、私たち一人ひとりが、生きていてもいい、生きたいと思える社会にすることを求められているのではないでしょうか。

そこで、本シンポジウムでは、私たちが『どんな状況にあっても「生きたい」と思える社会にするためにできること』や『私から始める生きる支援』を皆さんと考えます。

日時：10月21日［金］　13：30～16：00
※開場は12：30になります

場所：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

定員：400名

入場無料

（先着順：12時から会場前【4階入口】で整理券を配ります）
託児(健康づくり課で10月14日までに申込) 手話通訳・要約筆記あり
※託児は、10名まで　　託児対象者は、2歳～6歳以下のお子さんです。

プログラム

基調講演　13：35～14：35

講師　アグネス・チャン 氏

「小さな命からの伝言～私とあなたの命のつながり～」

シンポジウム　14：45～16：00

「私ができる生きる支援とは」

■コーディネーター
大滝紀宏氏（湘南病院副院長）

■パネリスト
アグネス・チャン氏（歌手、エッセイスト、教育学博士）
大澤愛子氏（横須賀基督教社会館、田浦・逸見地域包括支援センター主任介護支援専門員、社会福祉士）
桑原　寛氏（神奈川県精神保健福祉センター所長）
今野幸子氏（横須賀市民生委員児童委員協議会副会長）

■お問合せ　横須賀市健康部保健所健康づくり課精神保健福祉担当
電話０４６－８２２－４３３６　FAX ０４６－８２２－４８７４

■基調講演講師プロフィール

アグネス・チャン（AGNES CHAN）

歌手・エッセイスト・教育学博士[Ph.D.]

香港生まれ。1972年「ひなげしの花」で日本デビュー。一躍、アグネス・ブームを起こす。上智大学国際学部を経て、カナダのトロント大学（社会児童心理学）を卒業。84年国際青年年記念平和論文で特別賞を受賞。85年北京チャリティーコンサートの後、エチオピアの飢餓地帯を取材、その後、芸能活動のみでなく、ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加する。

‘89年、米国スタンフォード大学教育学部 博士課程に留学。‘94年教育学博士号（Ph.D.）取得。98年、日本ユニセフ協会大使に就任。以来、タイ、スーダン、東西ティモール、フィリピン、カンボジア、イラク、モルドバ共和国と視察を続け、その現状を広くマスコミにアピールする。

現在は、芸能活動ばかりでなく、エッセイスト、目白大学教授（客員）、日本ユニセフ大使など、日本対がん協会「ほほえみ大使」、AIC高校ニュージーランド校学園長など、知性派タレント、文化人として世界を舞台に幅広く活躍している。

交通のご案内

◆ＪＲ横須賀線利用
JR横須賀駅下車

◆京急線利用
普通電車で汐入駅下車
（時間帯により特急も停車）

◆お車の場合
横浜横須賀道路 横須賀ICから
本町山中有料道路に乗り、
国道16号と合流後すぐ

〈後援〉
神奈川県、横須賀公共職業安定所、横須賀市医師会、横須賀市産業振興財団、
横須賀市民生委員児童委員協議会、横須賀商工会議所、横須賀断酒新生会、
横須賀三浦精神科医会、横須賀労働基準監督署、
NPO法人三浦半島地域精神障害者の生活を支える会